

日銀の視点

本県に赴任した際、県内44市町村を観光するとの目標を立てた。観光とは中国の古典に語源を持ち「国の優れたところを観る」といふが、道路網も発達していることから簡単に制覇できるとみていた。だが行政区画単位で見どころを調べ出向く作業は意外に難しく、まとめて回るにしても時間を要し、1年半弱を駆け達成したことになる。

振り返ると、楽しくもあつたが、「他所の風景などを見物する」という意味での観光

日銀水戸事務所長 稲見 征史

県内全市町村巡りの旅

の域を出ず、県内の地理や歴史に関して表層的な理解を得られた段階だ。それでも、端的な例を挙げれば、県南地区は首都圏通勤者が居住する都市型社会と思っていたが、農業地域も多いなど、実際に赴

かない。それでも、その単位にこだわったことで、知名度に「よらずさまさまな場所に行き、思わぬ発見があつたほか、広い県内、まだまだ探究したい場所も残った。また、結局のところ、旅先

県内巡りを続けるのも良いと感じる年の瀬である。さて、茨城県全体の観光業の動向を見ると、昨年は大規模な観光施策もあり、観光消費額の増加が見られたが、今年はその翌年に当たり、1年

る。また、物価高もあつてか、出かけやすい県内の道の駅などが首都圏のテレビで放映されることも多く、休日を中心ににぎわっているほか、訪日外国人の誘致施策も奏功しつつある。本県は第1次・第2次産業の牽引力が話題になりがちだが、第3次産業の代表格である観光関連業にとつて、左記に挙げた要素は来訪客の世代・国籍・嗜好の新たな広がり、観光消費の非日常性による支出増といった実質的な押し上げ効果が期待できる。また、物産品の販売などを通じて他産業への波及の裾野も広い点で、一段の飛躍の年になることを願う。

くことで産業や生活の多様性に気付けたのは所産である。行政区画というのは、歴史的経緯や経済的一体性などから一つの単位を成してきたわけ、あくまでも地域住民の生活の単位である。よって、観光地の存在を前提としてい

での地元の方との出会いや長時間滞在した場所を思い起こすと、単に見て回る以上の示唆があつたように思え、この土地を理解したいとの目標の初心を深掘りすることになった。来年からは、新たな出会いを期待しつつ、じっくりと

が明らかになるだろう。来年に向けては、水戸ホーリーホックのJ1昇格や、水戸市内に複数の新施設がオープンを予定し、県都は極めて明るい話題が多い。絶好の機会を生かし、その効果を周辺に伝播させる施策が期待され

る。また、物価高もあつてか、出かけやすい県内の道の駅などが首都圏のテレビで放映されることも多く、休日を中心ににぎわっているほか、訪日外国人の誘致施策も奏功しつつある。本県は第1次・第2次産業の牽引力が話題になりがちだが、第3次産業の代表格である観光関連業にとつて、左記に挙げた要素は来訪客の世代・国籍・嗜好の新たな広がり、観光消費の非日常性による支出増といった実質的な押し上げ効果が期待できる。また、物産品の販売などを通じて他産業への波及の裾野も広い点で、一段の飛躍の年になることを願う。